

アートギャラリー  
四国八十八ヶ所へんろ小屋プロジェクト  
— 遍路文化の継承、広がり願って —  
歌 一洋（空間デザイン）

四国に八十八ヶ所の霊場札所を巡拝する遍路道が在る。

空海が開いたとされ、1200年余、お遍路さん、地元の人達によって脈々と今に受け継がれている。祈りを体現した「お接待」と「循環性」というカタチは世界でも稀である。

この四国全域 1400km の遍路道の 89ヶ所に、歩きお遍路さんのための休憩、仮眠ができる「ヘンロ小屋」をボランティアで造っていくプロジェクト。2001年から10数年をかける予定である。

小屋は地域の様々な人達と共に、つくる過程も大切にしながら造る。

また小屋の設計にはその地域の風土、伝統文化、建築文化、空海を思想を多少なりとも表現し、より良い風景を創出する。

小屋づくりによって、人と人、人と自然のふれ合いや支え合いの広がりを願い、また祈りのシステムを体現した遍路文化継承の一助になればと考える。

現在 43 棟完成。

#### 小屋造りのコンセプト

- ・小屋、人によってより良い風景を創出
- ・子供から年配者まで多くの人々の参加
- ・建築する土地の地域性を生かす
- ・地域の人々のボランティアによる

#### 空間・デザイン

- ・人、自然とのコミュニケーションを重視した空間構成
- ・いい気が流れ、元気をもたらす空間構成
- ・物語性を構築
- ・光、風、水、土等との一体感を演出

#### 空海

- ・思想をカタチに
- ・空海ゆかりの物語をカタチに
- ・生誕の地（善通寺）、聖地（高野山）への意識

## ヘンロ小屋43号 しんきん庵・秋桜

全体のデザインイメージはこの地域に多く咲く秋桜で、やさしさ、繊細さを表現。

ベンチ、テーブルは市のマークがモチーフ。

内部は落ち着き、かつコミュニケーションを高める空間構成としている。

